

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Toybox		
○保護者評価実施期間	令和7年年11月15日		～ 2026/1/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 24人
○従業者評価実施期間	令和7年年11月15日		～ 2026/1/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/15		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所内(外)にスペースがある事で沢山体を動かす機会を提供できる面。	・他職種で連携をとりながら環境をうまく活用して活動に展開できている。	・屋外で、より活動を満喫できるよう環境整備を行いながらご利用者様方が安心安全に活動ができるようにする。
2	・LINEで活動報告ができる面。支援で何をしているのか見える化できる面。	・支援をして終わりではなく、ご自宅に安全に送り届ける・保護者にしっかり活動報告をするまでが支援だと思っている。しかし、お会いすることができない時にLINEを活用し支援の様子を伝えることを徹底して、保護者様が安心して様子を知る機会を仕組み化できている。	・LINEを送って終わりではなく、定期的に面談等を実施して日々の支援を直接お伝えする機会を作る。
3	・他職種が在籍する事業所。特性に対してどのようなアプローチができるかスタッフ間で話を密にできる面。	・計画書の作成や、日々の記録をデータ管理する事で情報のアップデートがしやすい仕組みを作っている事。特性や日々の様子を計画書に落とし込み、より良い支援をスタッフ全員で考える機会ができている事。	・AIアプリを導入し、効率化を図り子どもたち・保護者様の為(支援)に時間を要したい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所内(外)が広い分、怪我が起きてしまう。	・自己選択、自己決定を大切にしている為子どもたちからの提案は話し合いで決定している。急に外で活動をしたくなった際に安全確認をその場で実施する事もある為、怪我が起きるかもしれないと人数配置を多めに設定し防ぐ事がある。	・毎月、事業所内(外)の安全確認を実施しているが、必要に応じて多めに設定する。(草抜き・防草シートを貼る)(玩具の破損が無い) ・ヒヤリハット案件をその日のうちに保護者へ伝える為にミーティング内で検討を実施し誰が何をするか決を決 ・電話受けたら簡潔にその場にいるスタッフに伝える、保護者から頂いた話は必要の有無に関わらず話す等実施する機会を仕組み化する。
2	・情報共有ができていない事がある。	・伝える力の弱さと情報の取捨選択がうまくできていない可能性がある。	
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Toybox

公表日 R8年2月23日

利用児童数 30

回収数 24

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24				・室内に広いスペースがある所が良い	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22			2	・適切だと思う	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います か。	23			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	24					
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある 支援が受けられていると思いますか。	24					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内 容と合っていると思いますか。	24					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観 的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画） が作成されていると思いますか。	24					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ ンの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必 要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定さ れていると思いますか。	24					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	24					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	24					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会がありますか。	15	2		7		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。	24					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がな されましたか。	24					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われ ていますか。	19	1		4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	24					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われています か。	23			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同 士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。ま た、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の 交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされています か。	11	5		8			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1		5	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			7	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	2			・報告の際には顔にボールが当たり珍しく泣いたと聞きましたが、本人は目に当たったと言っていた事もありました ・状況説明とその後の対応の報告がきちんとある
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23			1	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1		1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	24				

公表 養所における自己評価結果

事業所名		Toybox				公表日 R8年2月23日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・他事業所と比較して広い支援室を有している ・広さは十分ある		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・職員の人数もしっかり足りている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・柱や段差は多い ・特に現在はバリアフリー無しで良いが、必要に応じて台などを作る	・情報が止まらないように常に更新する機会を毎日作る。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・子どもの目線に合わせた提示を心がけている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・広い支援室+個室2つあり ・落ち着ける部屋や個室が2部屋ある ・個室		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・朝礼と昼礼を欠かさず実施できている ・毎月目標設定、毎回振り返り実施 ・毎月の目標決め、日々の支援の振り返り実施		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎年行いアンケートも実施 ・イベントやLINE		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・朝礼と昼礼を欠かさず実施できている ・言いやすい環境を作っている ・ミーティング、面談実施		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	・実施の有無を知りません ・外部の意見をもっと取り入れていきたい	・毎月外部とのミーティングを実施している。実施で終わる事なく、さまざまな事にチャレンジする機会までしていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・毎月研修をし必要に応じて参加している ・スキルアップ研修実施		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・毎回面談を実施又はオンラインで様子等うかがい実施		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・会議を行いその時に計画を作成している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・大きな目標と実施可能な計画も取り入れている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・標準化されたツールはなし ・確認しその都度見直している	・専門性を高めるための取り組みを実施中。形にしてより良い支援に結び付けられるようにしたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・地域支援、連携が弱いように思う	・地域を巻き込んだ支援を形にできるようにイベント実施ができるように取り組む。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・全員で作製	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか 。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	5	1	・開始前の打ち合わせが無い時もある ・昼礼実施	・時間を決めてミーティングができるよう スケジュールを立てる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・12時より前日振り返りをしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・事前検討が必要	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・活動内容を子ども自身で決定できる	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	6		・保護者と連絡は取れている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・未実施	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	4	2	・対象者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	・協議会に参加できている ・症例発表：他事業所との連携	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	4	2	・イベント実施	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・イベント実施	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	6		・毎回対面又はラインで連絡できている		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			・SNS(LINE)を通して日常的に家族からの相談に応じている。またレスポンスも早急に対応する様心がけている ・LINEで実施	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	1		・イベント ・イベントを通して交流の機会を設けている ・兄弟支援実施	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			・苦情があった際すぐカンファシ共有	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			・年間行事予定は次年度より保護者へ配布予定(年度初め配布)	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3			
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・火災の避難訓練実施 ・災害時のマニュアル作成及び児童を含めた訓練を行っていく	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		・該当者なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		・年2回実施 ・熱中症対策実施	・その時その時に対応が必要な研修があれば実施していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		・家族への周知未実施	・年間スケジュールを立てて実施する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6				
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6					
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1				